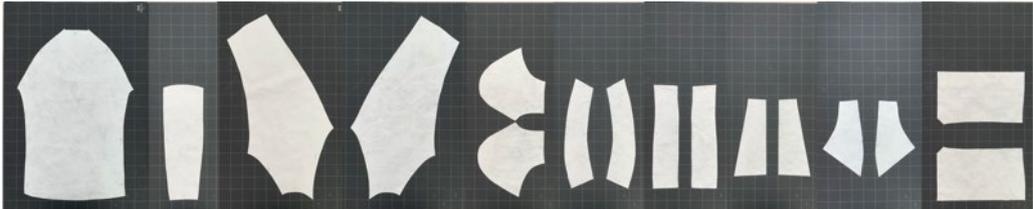


## 2021年度 独創的研究助成費 実績報告書

2022年3月28日

報告者	学科名	工芸・工業デザイン学科	職名	准教授	氏名	船山俊克
研究課題	着心地を考慮した医療用防護服の調査分析および試作制作にかかる研究					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	船山俊克	デザイン工学科	プロダクトデザイン	代表	
	分担者					
研究実績の概要	<p>本研究の目的は、研究代表者の先行研究を踏まえ、実用可能な医療用防護服の試作を行うため、生地とパターンの調査・分析を行い、制作と同時に検証も実施するというものであった。2020年度に実施した研究から、作業着衣服の着心地には大きく関係する二つの要素の検討が足りていないためであると考えられた。一つは生地の力学的特性であり、もう一つは形状をかたちづくっているパターンの問題であった。生地の力学的特性に関しては、商品化されている医療用防護服に対してKESIによる計測を行い、をいくつかの特徴的な値を抽出することができた。</p> <p>そこで今年度は後者であるパターンに着目し、研究を行った。具体的には動きやすいと言われている運動用衣服に関して、実際に動きやすいと感じられた商品のパターンを分析し、試作するというものである。複数の運動用衣服を着用検証し、最も動きやすいと感じられる商品(図2)について、分解・パターンの抽出(図1)を行った。試作(図3)用の素材としては、実際に医療用防護服に用いられている素材を企業からご提供いただくことができたため、それをを用いている。</p>					
						
	図1. 制作した試作用パターン					

※ 次ページに続く



図 2. 参考にした運動用衣服



図 3. 制作した試作品

研究実績  
の概要

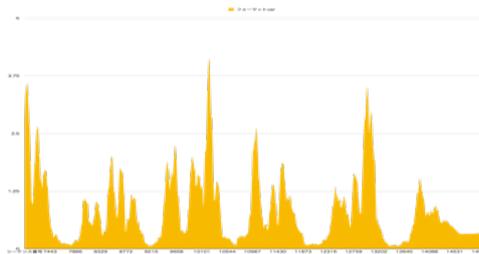


図 4. 従来品着用時の筋電図

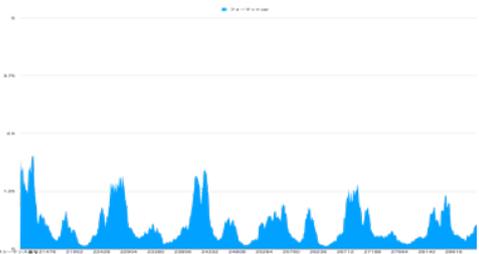


図 5. 試作品着用時の筋電図

筋電図は乾式のものを用いている(図 4,5)が、まだサンプル数が少ないため、これからより多数の計測を行う予定である。

成果資料目録